



日の出町

発行：日の出町農業委員会
：042-588-4102（直通）

ひので大地

第 26 号
令和 4 年 1 月発行



令和 4 年元旦 日の出山からの初日の出の様子

（日の出山山頂にて 事務局撮影）



日の出町イメージキャラクター 「ひのでちゃん」

おもな記事

- | | |
|---------------------|--------|
| * あいさつ | ・ ・ P2 |
| * おめでとうございます(表彰) | ・ ・ P2 |
| * 24 期農業委員がスタートしました | ・ ・ P3 |
| * 担当区域図 | ・ ・ P3 |
| * 塩田農産物普及センター廃止について | ・ ・ P4 |
| * 獣害対策について | ・ ・ P4 |
| * 認定農業者紹介 | ・ ・ P4 |

あいさつ



農業委員会
会長 神田 功

《新年を迎えて》

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には日頃より日の出町農業行政及び農業委員会活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一昨年に続き新型コロナウイルスの終息は見られず、農業委員会の活動においても当初計画しておりました事業も中止を余儀なくされました。

年が明けてからオミクロン株が猛威を振るっており、感染防止策を講じた中での生活が今後も必要となります。

このような中でも、農業者は、地域住民の食を支える重要な役割を担い励んでおります。

引き続き、農産物が安定して供給できる環境を整えるため、農地パトロールによる遊休農地等の発生防止や農地中間管理機構等と連携し農地の貸し借りをさらに進め、農地の保全、利用の最適化を推進していきたいと思います。

《就任にあたって》

この度、日の出町農業委員会臨時総会におきまして、農業委員の皆様より推薦をいただき、前期に引き続き24期農業委員会会長に就任いたしました。就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

23期農業委員会では、遊休農地の解消と発生防止、農地の利用最適化の推進、地産地消の推進を重点活動に掲げ、これまでに約6haの農地を集積することが出来ました。このほか農地パトロール、町内園児を対象とした大根栽培体験による食育事業などを実施いたしました。

引き続き24期農業委員会においても積極的に活動してまいります。

おめでとうございます

《内田農業振興会功労者表彰》

現農業委員の松本哲男氏が、農業の発展・振興に貢献されたその功績が認められ、令和3年度緑綬功労賞を受賞されました。



田村町長に受賞の報告を行いました。

(左から、神田会長、松本委員、田村町長)

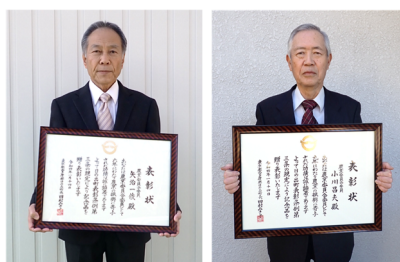
内田農業振興会功労者

表彰とは？

公益財団法人内田農業振興会が行っている顕彰事業です。東京都において多年に亘り農業に従事し、農業の発展、振興、後継者の育成に功労があり、その功績が顕著である農業者を毎年各団体からの推薦を受け、審査、決定しています。

《自治表彰》

前農業委員の小川昌夫氏と矢治一俊氏の両氏が、令和3年度日の出町表彰式において、長きにわたる農業委員としての活動に対し、自治表彰を受賞されました。



農業委員として活躍された
矢治氏（左）と小川氏（右）

《感謝状》

現農業委員の馬場敏明氏が、令和3年度日の出町表彰式において、農業委員会が推進している食育体験（大根栽培体験）活動で長きにわたり中心的に活動されたことに対し、感謝状が贈られました。



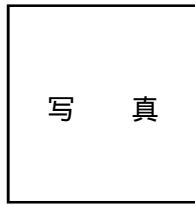
町長より感謝状が贈られた馬場委員



職務代理
辻本 泰啓
町内全域
座席番号 14 番



会長
神田 功
町内全域
座席番号 15 番



写 真

氏 名
担当地域
議席番号

令和 3 年 9 月より 24 期農業委員会が スタートしました



和田 勝
大久野第 2 班
座席番号 7 番



松本 哲男
平井第 1 班
座席番号 6 番



山崎 茂樹
大久野第 2 班
座席番号 5 番



関根 進
大久野第 1 班
座席番号 3 番



田中 豊弘
大久野第 2 班
座席番号 2 番



青木 崇
平井第 1 班
座席番号 1 番



木住野佑治
平井第 2 班
座席番号 13 番



野口 隆昭
平井第 2 班
座席番号 12 番



馬場 敏明
大久野第 1 班
座席番号 11 番



坂本 晴洋
平井第 1 班
座席番号 10 番



土澤 孝一
平井第 2 班
座席番号 9 番



天野 幸次
大久野第 1 班
座席番号 8 番

第 24 期農業委員担当地域図



ひので塩田農産物普及センター の廃止について

日の出町では、地域に愛された特産品「ひのでトマト」を生産していました。「ひので塩田農産物普及センター」を施設の老朽化等により本年（令和4年）3月末をもって廃止することとし、現在ガラスハウスなどの施設を解体しております。

「ひのでトマト」については、昭和53年の農事組合法人塩田施設園芸の設立から40有余年を数え、地域に愛されてきました。平成21年に施設（ガラスハウス等）が町に寄贈され指定管理施設として、「ひので塩田農産物普及センター」が「ひのでトマト」の生産を引き継ぎました。今回、同施設の廃止により、「ひのでトマト」の生産は、日の出町農業振興委員会に引き継がれます。新たなステージを迎え、「ひのでトマト」のさらなる発展が期待される所です。日の出町の特産品「ひのでトマト」の引き続きのご愛顧どうぞよろしくお願いします。

ストップ農作物被害！

鳥獣害対策のポイント

野生鳥獣による農作物被害を減少させるためには、野生鳥獣を寄りつかせない環境づくりが基本となります。畑に、野菜くずや生ごみなどをそのまま放置すると、野生鳥獣のエサとなってしまう。また、被害対策をとっていない畑もエサ場になってしまいう危険性があります。草刈り等を行い、収穫残渣や生ごみなどを放置しないようにしましょう。

町では、簡易電気柵の貸出事業を実施しております。詳しくは、産業観光課農林振興係までお問い合わせください。

042（588）4102



畑に設置された電気柵

認定農業者紹介

もりた いちろう
森田 一郎 さん

もりた ひろこ
森田 弘子 さん

森田さんご夫妻は、アスターやひまわり等の花き栽培と、のらぼう菜、ネギ、キュウリ等の野菜を生産し、日の出町ふれあい農産物直売所に出荷されています。現在は、のらぼう菜の栽培を中心に行われています。



森田一郎さん 森田弘子さん

農地転用などの申請の締切は、毎月15日（土日祝日の場合には、その前日まで）となります。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の終息には、未だ至らない状況ですが、第24期農業委員会がスタートしました。農政の向上や安定した農産物の供給に向けて、農地保全活動に邁進して参ります。

今後とも「ひので大地」にて、農業に関する情報を提供してまいりますので、ご愛読お願いいたします。

※掲載写真については、撮影時のみマスクを外しております。

【編集委員】

木住 野 佑 治
松 本 哲 男
天 野 幸 次
青 木 崇

お問合せ

日の出町農業委員会事務局
（産業観光課農林振興係内）
042（588）4102

人事異動のお知らせ

令和3年5月1日付の人事異動に伴い、宮下主事が異動され、新たに細金主事が就任されました。